

【資料 2】 棚田CDOより

(1) 豊田市が抱える課題を本気で

- 重点目標（チャレンジ取組項目含む）、今後の総合計画を踏まえ、将来像とともに、豊田市が抱える課題をデジタル化推進本部でも取り上げ、議論・意思決定・解決していきたい。
- デジタル化推進本部＝課題解決 by DX

(2) DXによる価値を最大化

- 本来の仕事＝市民・地域・事業者等のための○○（価値として捉えてもらえるもの）
- DXで価値を最大化⇒豊田市において良かった・嬉しい・楽しい

(3) 目的を見失わず、目的を達成する最適な手段とともに

- アナログな手段で本来の目的が本当に達成されているか、達成のために余りに労力がかかりすぎていないか、という目線。
前例踏襲では次に繋がらないので、最適な手段を一緒に考えていきたい。
- 職員もラクに楽しく仕事ができるようにしていきたい。

(4) 危機的な状況になってからでは遅い、先送りしない

- 今一度、危機感を持って臨む。まだ持ちこたえている今から考えておかないと、気付いたときには手遅れ・火の車・ゆでガエル。
- 私の危機感が10とするなら、皆さんは100の危機感、であってほしい。

(5) 迅速に考えて、まずはやってみること＋横の連携を

- やってみることで次の手が見えてくる。やりながら、試行錯誤。やらないことが一番の失敗。
- 一つの課題を複数の課で、力を合わせて解決していきたい。

(6) 予算準備の加速、必要な予算等についてはデジタル化推進本部でオーソライズ

- 課題解決のためには、一定の検討時間が必要。早い段階から、少しずつ中身を深めていく。
- 本当に市としてやらなければならないことは当然やるべきであり、市の経営目線で、デジタル化推進本部で意思決定して進めていきたい。